

令和 7 年度第 2 回大正区区政会議

日 時：令和 7 年 9 月 1 9 日（金）

午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 4 0 分

場 所：大正区役所 4 階藤井組大正区民ホール

○西尾区政企画担当課長

皆さん、こんばんは。それでは定刻になりましたので、ただいまから令和 7 年度第 2 回大正区区政会議を開催させていただきたいと思います。

本日は、公私何かと御多忙の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の司会を務めます、区政企画担当課長の西尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは着座にて失礼させていただきます。

それでは、午後 7 時現在、区政会議委員定数 1 4 名のうち出席者は 1 0 名となっており、委員の 2 分の 1 以上の出席がございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第 7 条第 5 項に基づきまして、本会議は有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、大正区長の村田より御挨拶申し上げます。

○村田区長

改めまして、こんばんは。大正区長の村田です。いつも大変お世話になっております。

今年度第 2 回目の区政会議ということですが、任期の関係で、今日で今のメンバーでの区政会議は一旦閉めるということになってまいります。せっかく前回 6 月にいろいろと皆さんとお話しさせていただいて、その後も含めてお話しできたのに、もうお別れ、大正にいてはるのでいつでも会えるんですけど、一旦は終わるということで本当にありがとうございました。引き続き大正区の区政につきまして、御理解、

御協力いただければなというふうに思ってます。

それとあと、うれしい悲鳴というのが、次のメンバーさんの公募を行ったんですけれども、7人の定数のところに15名、倍以上の応募がありました。区政会議を立ち上げたときの担当課長だったのが私でした。そのときからずっと調べても、多分最高倍率だったんじゃないかなと思います。ほんとに御応募いただきまして、ぜひメンバーに入っていただきたいような方もいらっしゃったんですけども残念ながら一緒に御議論できない方もいらっしゃるということで、ただ7名の方におかれましては引き続きの方もいらっしゃいますし、新たな方もいらっしゃって、また新しい議論ができるんじゃないかなというふうに思ってます。

それとあと今回の設え、今までと違いますよね。前回の御議論の中であつたのが、まず1つ目が、それぞれ得意分野があるから1回分野ごとに分けてやってみたらいいのではないかと、そんな議論があつたということでしたので、2つのチームに分かれて御議論いただくというのも1回やってみようかなというのが1つと、それとビジョンについて、御議論いただくことになるんですけども、のりしろが全然ないやないかというお話があつたかと思うんですよね。余白というか、我々何議論する余地がないやないかと、あれもこれも何もやってますしかありませんのでね、今までの議論で言いますと。一回今度のビジョンにつきましては施策の方向性までは書きますけれども、地域の皆さん、区民の皆さんと何をするというのにつきましては、実を言うと空けてます。これからみんなで議論していきたいなという部分もたくさんありますので、のりしろつくってます。

3つ目は、土井委員から託児所つくってほしいなという話があつたと思いましたが、次回、区政会議から託児所つくります。

○土井委員

おお、早いね。

○村田区長

24区初の託児所付きの区政会議になりますので。

○土井委員

ええっ、初。

○村田区長

初です。

○土井委員

おおっ。

○村田区長

そんなんもやってみて、取りあえず何でも一回やってみようかなと。あかなんだらまたみんなと議論しながら修正していったらええやんというふうに思ってますので、また御理解、御協力いただきまして活発な議論になりますように、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。

次に、会議の進行につきましては、お手元に配付の資料、並びにあらかじめお送りさせていただきました資料を基に進めさせていただきます。

議題に入ります前に、その都度資料の確認をさせていただきますが、事前にお送りさせていただいた資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら予備を御用意しておりますので、お申し付けいただきますようによろしくお願いいたします。

次に、本日の会議は全て公開とさせていただきます。本日撮影させていただきました動画や写真、会議録等は、後日、区のホームページで公開させていただきますので、御了承いただきますようによろしくお願いいたします。

なお、本日もメディアからの取材申入れもあり、メディアによる録音や撮影がございますので、こちらにつきましても御了承いただきますようお願いいたします。

それではここで、お忙しい中、オブザーバーとして御参加をいただいております皆様を御紹介させていただきます。

出雲市会議員でございます。

○出雲市会議員

皆さん、こんばんは、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○西尾区政企画担当課長

小山市会議員でございます。

○小山市会議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

金城府議会議員でございます。

○金城府議会議員

こんばんは。よろしくお願いします。

○西尾区政企画担当課長

川岡府議会議員でございます。

○川岡府議会議員

こんばんは。よろしくお願いします。

○西尾区政企画担当課長

それでは、本日の議事に入らせていただきます。

ここからの議事進行につきまして、議長にお願いしたいと思いますので、北川議長、よろしくお願いいたします。

○北川議長

皆さん、こんばんは。私も今回で、ちょうどこの9月で終了という任期になりますので最後の会議となります。よろしくお願いいたします。それでは着座にて失礼させていただきます。

それでは、早速議事に入らせていただきますが、まず議題1「大正区将来ビジョン2029 骨子案全般について」、区役所からの説明をお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

それでは、議題1について、御説明いたします。

事前に送付しております、書類番号1「大正区将来ビジョン2029 概要版」、それと書類番号2「大正区将来ビジョン2029 骨子案」をお手元に御準備いただきますようによりしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、「大正区将来ビジョン」について御説明させていただきます。

「大正区将来ビジョン」は、大正区のまちづくりの基礎となる計画でありまして、大正区が抱える様々な課題に対してどのように対応し、どのような大正区を目指すのかということを区民の方々に明らかにするというものでございます。

現在の「大正区将来ビジョン2025」につきましては、計画の期間を2025年、今年度までとしていることから、新たに2026年度、来年度からの中長期的な目途とした「将来ビジョン2029」を策定する必要があります。今回の会議では、「将来ビジョン骨子」について議論いただきまして、皆様からいただいたいろんな御意見をもとに今後素案を作成してまいりたいと思います。この素案につきましては、11月にパブリックコメントを実施し、区民の皆様から広く御意見を頂戴するとともに、12月の区政会議においても、再度皆様の御意見をいただく機会を設けさせていただきます。パブリックコメント及び12月の区政会議での御意見を踏まえまして、将来ビジョン（案）を作成して、2月の区政会議にて（案）を御覧いただき、さらに御意見を反映した上で、4月に策定を予定しております。

書類番号1及び書類番号2の資料につきましては、策定の基礎となる「概要版」及び「骨子案」になります。資料につきましては事前に御確認いただき、事前質問いただいておりますので、その事前質問について御説明させていただきます。

机の上に置かせていただいた書類番号5「区政会議委員からの事前質問・意見に対

する回答」を御覧いただけますでしょうか。

北方委員から、2つ御意見をいただいております。

まず1つ目としまして、健康寿命の延伸のところで、働いている人たちが勤務後公園を利用し、運動ができるよう公園を夜でも明るく、安心して女性でも利用できるような利用価値を上げていく施策が必要かと思われるという御意見をいただいております。

それに対しての回答でございます。公園の安全性向上や利用環境の整備につきましては、引き続き公園を所管する建設局とも連携して取り組んでまいります。また、働いている人が仕事が終わった後でも運動できるようにするための取組としましては、学校体育施設開放事業として、学校の運動場や体育館などをふだんの授業などに差し支えない範囲で地域の人たちに使っていただけるようにしており、地域のスポーツチームや運動サークルが定期的に集まって活動できる場所として利用されています。今後も区民の皆様の健康的な生活と安心して運動できる環境づくりに努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

2つ目の御意見でございます。区役所についてということで、区民の行きやすい場でなく事務手続をするだけの場となっている。用事がなくとも行きやすい場であれば多くの情報が目につき、施策への関心へとつながり区民を巻き込む力となっていくのではないかと。例えば喫茶コーナーや何でも相談コーナーを設けるといった御意見をいただいております。

区役所の2階には区民の皆様が休憩していただけるスペースとして「さわやか広場」を設けております。「さわやか広場」には、大正区内だけでなく市内の様々な行政情報を配架している情報コーナーや、区民による作品などを展示する区民ギャラリーも併設しております。相談に関しましては、子育てや健康に関することや、生活の困り事など各種御相談をお受けする窓口や弁護士による法律相談などの専門相談も区役所内で随時実施していますので、気になることがありましたらぜひ御相談いただきたいと思います。これからも「さわやか広場」や区役所での活動を区民の皆様にご

ていただき、区役所が区民の皆様に親しまれ、訪れやすい場となるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

説明については以上でございます。

○北川議長

ありがとうございました。

それでは、「将来ビジョン2029骨子案全般」について、委員の皆様から御意見を伺いたいと思います。

ただいま区役所から説明がありました「大正区将来ビジョン2029骨子案全般」について、何か御質問、御意見等はございませんでしたでしょうか。

まず、事前質問のあった北方委員、何かございますか。

○北方委員

今区役所の方が言われた私の質問に対しての回答について一点よろしいでしょうか。公園の安全性とかいうのはすごく言われてることで、学校の運動場や体育館などというのはすごく分かるんですね。すごくやられてるの。手続などの必要がなく気楽にできることというのが、勤務後ちょっと今日は動きたいなとか、今日動きたくないなというそういう人の気持ちの選択の自由というのかな。そういうことができる選択という、そういうのあると思うんですね。手続してたら、必ずその日には行かないといけないとか、そういうのがあると思うんですね。やっぱり健康維持をするために、それはきっちりせないかんというのはあるけど、人はそんなにきっちりできないので、仕事帰りにちょっと今日は体、仕事ちょっと楽やったから走ってみようとか歩いてみようかっていうそういう気持ちっていうのを優先できるようなために、やっぱり手続などがないようなやり方ができたらいいなと思って書きました。

それと、「さわやか広場」というのは、私もこの質問に対しては「さわやか広場」は存じ上げてるんですね。区役所に来るたびにできる限り行くようにしてるんですけども、ほとんど人が入ってないんですね。ゆっくり落ち着ける場って、形はすごく

ゆっくり落ち着ける場になってるけれど、なかなか敷居が高いような「さわやか広場」になってるような気がして。入り口にギャラリーがあるので、あそこのあれはみんな見るんだけど、中に入ってゆっくり落ち着けるって、そういう感じでは雰囲気的じゃないんですね。やっぱり相談っていうのでも、専門ではなくちょっと気軽にしゃべるとか、そういうものもやっぱり大切かなって思いました。すいません。

○北川議長

ありがとうございます。

今のことににつきまして。

○西尾区政企画担当課長

まず1つ目の気軽に運動できるというのは、もちろんそういったことだと思いますので、今後も公園の安全性向上や利用環境の整備について、引き続き関係局と調整していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2点目の区役所の「さわやか広場」などのギャラリーなんかも、まだまだ利用できてないところもございますので、ここについても何かと工夫をしながら、皆さんがくつろげるような場所にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○北川議長

ありがとうございます。

いいですか、それで。

○北方委員

ありがとうございました。

○北川議長

それではほかにどなたかございませんでしょうか。では、当てさせていただきます。
姉川さん、いかがですか。

○姉川委員

一番最初のところで、「だれもが自分らしく安心して暮らせる地域づくりの推進」というところですけども、一番最初にちょっと目についた、障害者手帳の所持者が増加しているというところで、あると思うんですけど、この前ちょっと朝日新聞か何かで賞を取った障害持ってる作家さん、名前忘れたけど。

○土井委員

乙武さんですか。

○姉川委員

乙武さんじゃない。女性の方、何やったかな。ごめんなさい。調べとけばよかった。市川沙央さんという方が、朝日新聞が主催の多様性を考えるというイベントについて、すごいいろんな登壇者がいる中で、すごいいいことをしてるような会議ですけども、そこに障害者の方とか性的マイノリティの方の登壇者が一切入っていないという批判の寄稿をされて、それを朝日新聞が自ら掲載したというのが、つい最近載ってたと思うんですけども、まさしく僕もその記事を見てそうだなと思いまして、こういった場でも、やっぱり僕らはこうやって夜来られたりするんですけども、例えば前回あったような、夜だったらやっぱり子供さん持ってる方が来にくかったり、やっぱり障害者の方の当事者の意見というのがなかなか反映されにくい場になってるんじゃないかなと、その記事を読んで思いまして、どこかでやっぱりその当事者の意見を聞くような機会というのがあって、それをこういう将来ビジョンとかに反映することがあったらいいなと思って、もちろんあるんであればちょっとそれをそういうふうにしてますよというふうなことをきっちり載せれば、こういう地域づくりの推進が区役所全体、大阪市全体でされてるんだよというのが分かるんじゃないかなと思うので、そういうのがあるのかどうかというのを教えてもらえれば幸いです。

○北川議長

ありがとうございます。

では、よろしくお願いします。

○貴志保健福祉課長

御質問ありがとうございます。保健福祉課長の貴志でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

姉川委員の、特に障がいに着目されて、手帳所持者数は伸びているけれども、こういった大きな方針を決める際に、手帳所持者等々の当事者の御意見が反映される機会があればということで御意見を頂戴したところでございます。先ほどスケジュールの中にパブリックコメントの話もありまして、この計画に関しては、広く区民の方に意見を添う形にはなっているところが一点。これ以外に実は福祉のほうで地域福祉計画というのを立ててございます。その地域福祉計画を策定する際には、地域福祉の専門家であったり、お医者さんであったり、地域のいろんな方にお集まりいただいて議論しているところですが、その中に障がいがある当事者の方にも御参画をいただきまして御意見を頂戴して計画を策定したところでございます。福祉の計画ということで福祉施策を推進するためにはどういったことが大事かというようなことを書かせていただいておりますので、そこからこの将来ビジョンに反映させられるところは反映させていただいて、改めて当事者の御意見をパブリックコメントという形でお聞かせいただければと考えておりますので、その点は意見をお伺いする機会があるということで御了承いただければと思います。私からの説明は以上でございます。

○北川議長

ありがとうございます。

姉川委員、どうですか。

いいですか。はい。ありがとうございました。

それではほか、どなたか。中島委員、何か。

○中島委員

中島です。将来ビジョンの概要版の一番下の「4つの柱を支える共通の取組」という中の1番「地域活動の活性化」、2番「情報発信伝達力の強化」、これはものすご

く僕大切ななと思います。

先日、敬老会を三軒家西で開催しました。敬老会に来られる出席率、めちゃめちゃ高いんですよ。うちの町会でいえば約70%の参加率がありました。何で来られるのかなと。ほかの地域のイベント、何やっても70%の参加率なんてあり得ないんですよ。やっぱり思ったのは物もらえらるかなのかなと。ぶっちゃけね。何かやっぱり得られるものがあるっていうことがあれば世の中ってみんな参加しやすいのかなと。どちらかというと受益者負担で自分が何か得られるものがあつたら、それに対する対価というのは払うのは当たり前だっていうのは分かります。ただそうではない、ただ単に受け身の方たちというのはやっぱりプラスであれば何か参加率とか、それから情報を得ようとする力というのは湧いてくるんじゃないかなと。だから悪い言い方ですけど、ちょっと餌を出す、餌をまくという手を行政のほうでも、この区役所のほうでも我々地域のほうでも何か考えなきゃいけないのかなというふうには思いましたので、一つちょっと意見というか参考になればと思ひましてお話しさせていただきました。

○北川議長

ありがとうございます。

役所のほうは別に何もありませんか。

○西尾区政企画担当課長

何かいろんな皆さんが得とされるようなものなのか、もしくは知識なのかもしれませんけど、皆さんが得になって来たいと思うような何かいろんな仕組みがあればいいと思いますので、また今後も御意見いろいろといただき検討していきたいと思ひます。ありがとうございます。

○北川議長

ありがとうございます。

土井委員、何かございますか。

○土井委員

土井です。僕、今年老眼デビューしまして、いつもこの事前資料を見るの、細かい字で大変になってきてる年頃なんですけど、今回のこれ、むちゃくちゃ見やすかったです。多分確か南さんが言うと思ったんやと思いますけど、前回に。ぎゅうぎゅう詰めで読みにくいみたい。この声にも対応していただき、この後に控えるグループ討議とかも区政会議で出た意見を取り入れていただけてるということで、区民の声を取り入れて変わろうとしてる姿がすごくうれしいです。ありがとうございます。

ビジョンとちょっとずれることに発言するんですけども、さっきの北方さんの公園の意見聞いてふと思い出したんですけども、泉尾のほうの公園で、8時、9時辺りに子供だけで公園で遊んでる姿を見て、それ見ながら友人とちょっとその辺歩いと思ったんですけども、その友人が今平野区に住んでるんですけども、奥さんが大正区出身。その平野区の友人が言うには、こういうのがあるから大正区嫌やねん、子育てにはみたいなことをぼろっと言われたんですね。確かに、もう僕大正住んで長いんで、既にもう子供が夜遊んでる姿とか居酒屋でおる姿、居酒屋は多少違和感あるんですけど、何連れ回しとんねんて思うんですけど、公園で遊んでる姿とか前より違和感覚えなくなってる自分にちょっと怖くなったんですけども、ほんまに大正区だけやでって言われたら、それもそうかっていう気がしてね。この辺を行政側は問題視してるのか、それともしていないのかとかいうか、どうお考えなのかなということをお願いしまして、よろしくお願いします。

○北川議長

ありがとうございます。

これについて、どうぞ。

○村田区長

ええかあかんか言うたら、多分早く帰ってはよ御飯食べて寝てくださいよと思いますし、ちなみに大正だけじゃなしに我が地元の住吉でも同じような感じなんですけどね。これもう永遠のテーマです。僕も市民協働課で青少年健全育成を担当してたとき

から、もうずっと課題です。言いながら10時、11時、12時まで居酒屋で飲んだら子供いてるっていうのはね、確かに課題やとは思ってますけども、どうしたらええかっていうのは一緒に皆さんと考えていきたいなというふうに思います。

○北川議長

ありがとうございます。

反対のほうのグループのほうから、大石委員、どうですか。

電話ですか。木幡さん、行きます、先に。

○木幡委員

すいません。遅れてまいりまして申し訳ございません。ちょっと今の土井さんのお話からそのまま受けてなんですけど、子供さんだけで夜でもそうやって、ある意味公園にいてもそんなに危険じゃないっていうのは逆に安全なまちになってんのかなっていうところもあるのかなと。反面でそういうふうに思ったりもするので、よくないこととは思いますが、一般的に今まで大正ってすごい外の方から見たら治安が悪いようなイメージとかあったりはするところも少なからずあったかと思うんですけど、それでも何とか事件や事故に巻き込まれみたいなことはなくて、やっぱり土井君みたいにそのまちの人間がどっかで見ながら、よっぽどのことがあったらすぐ何かできるというような、反面見るとそういういいまち違うのかなとちょっと反論的な感じかも分かりませんが、そういう。僕はほんとに大正って人情味あふれるまちやなとすごく思ってるんで、そういう部分でもあるんじゃないかなとちょっと思ったりはしております。

○北川議長

ありがとうございます。

ちょっと口挟みますけれども、我々の私の時代の小さいときやったら、表に出ても街灯はポツンポツンとついてるという形で、下手に出ると親から子取りに取られるでってよく言われたもんです、昔は。子取りって、今の子供は聞いても分からんと思

ますけど誘拐されるでっていうような意味ですね。そういうふうなことでよく表へ出たらもう真っ暗けで、どこ行くん言うて、よく怒られましたけどね。

大石さん、よろしいですか。次。

○大石委員

すいません、大石です。今皆さんの御意見をお聞きしてましてですね、夜確かに暗くなる8時といえ夏でも暗いわけなので、その暗いところで子供だけが遊ぶっていうのはいいか悪いかっていろいろ両論あると思うんですよね。ただ、今、木幡さんがおっしゃったように、それが一つの安全性の表現かも分からないし、逆に言うと夜遊びに出てる子供の親は何をしてるんだろう。その親としてのその責任はどう感じてるんだろうということも一つの見方だと思いますし、多分その居酒屋に子供が12時までいてたという、これは多分僕らから考え、飲み助から考えても賛成したくない。やはり子供は子供の時間だし、居酒屋でもその9時や10時になってくると大人の時間というのは、ある程度それは親御さんのほうもわきまえてほしいなと思う。ただ逆に極端な例で、子供と大人が一緒にする行事で、子供の前でお酒飲むのは絶対反対という方もいらっしゃるんですね。ただ日本の文化というのは、昔ながら村祭りはもう子供を交えてのお酒もつき料理も皆さんが持ち寄ってという行事が普通だったんですね。今のようにその子供の前でお酒飲むのは問題だという意味をずっと拡大解釈すると、昔の子供っていうのはそういう姿を見てるわけですから、祭りになると、あそこのおっちゃんはお酒好きやからよう飲んでぐじゃぐじゃ言うてんでっていうのが普通だったのが、いやその子らが悪くなったかという、非行化っていうね、その言葉、今現代の言葉に置き換えたらそうなるのかなと思うんですが、非行化に走った子供っているんだろうかっていうことになると、多分そんなに今の現代のその非行化の率と比べて大差ないと思うんですね。やっぱり走る方向を間違える子供っていうのはいつの時代にもおるんだし、だからちょっとあまり取り留めのない話になりましたけど、居酒屋ある時間ぐらいまでは親子でも結構やなと思います。

○北川議長

ありがとうございます。

そしたら、あとお一方どなたかございますか。いいですか。ございませんか。

それでは、これで議題1を終了させていただきたいと思います。

大変貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。今後の区政運営に生かしていただきたいと思います。

次の議題に移らせていただきます。議題2「大正区将来ビジョン2029骨子案各施策について」、区役所からのグループ討論の説明をお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

それでは、議題2について御説明いたします。

事前に送付しています、書類番号3「令和7年度第2回大正区区政会議グループ討議資料」と、書類番号4「ワークシート」を御準備いただけますでしょうか。

それでは簡単に流れを説明させていただきます。

今回、先ほど区長からもありましたように、初めての取組でグループ討議ということをやらせていただきたいと思います。テーマとしましては、この大正区の「将来ビジョン2029」の将来像を実現する4つの柱のうち、A班につきましては1番の「こころとつながる健やかなまち大正」、3番の「こどもの夢をみんなで育むまち大正」という、これをA班で御議論いただきたいと思います。

そしてB班では、2番の「みんなで守り未来へバドンをつなげるまち大正」、4番の「人・企業・まちが共に育つ、にぎわいと進化のまち大正」ということでの御議論、意見交換をしていただきたいと思います。

流れですけど、その下の四角いところをご覧ください。まずは討議の展開ということで、まずは皆さんで各自で事前にお送りしたワークシートの項目に御記入いただき、できたら四角い付箋、机の上に置いてると思います。そこにも書いていただけたらなと思います。それについて約4分間ということでございます。そして最後に各グルー

プで議論いただいた意見交換の中身を発表いただこうと思いますので、A班で1名、B班で1名ということで、どなたか発表者を決めていただきたいと。決めていただくのは約1分ということでございます。そしてその後皆さんが書いていただいた付箋を、今ホワイトボードがあるんですけども、そこに区役所職員が貼りますので、御自分の考えを順番に発表していただきたいと思います。発表いただくときに区役所の職員がそこに付箋を貼らせていただきたいと考えております。全員発言して意見交換をした後に、グループ発表をしていただくんですけども、皆さんが特に議論で盛り上がった点とか、面白いアイデア、もしくは気づきとかあれば共有いただくということで、それらを発表いただこうと思います。ここにはグループとして意見を取りまとめと書いていますが、別に取りまとめる必要はないと思います。あった意見を発表いただくということでお願いしたいと思います。そして留意点としましては、いろんな意見をいただきますので、自由な発想で、これもしかしてでけへんのとちゃうかなというようなことも書いていただいたらいいと思います。こうあったらええよねっていう自由な発想で書いていただきたいということと、他者の意見に対する批判、こんなんできへんのちゃうかとか、それはおかしいやろうというような意見じゃなくて、ポジティブシンキングで、こうなったらええよねということでみんなで前向きな議論ということでやっていただけたらええかなと思います。ですから今回あまり堅くならず、楽しんで意見交換していただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは今からグループ討議に入らせていただこうと思いますので、ファシリテーターとタイムキーパーは区役所職員がやらせていただきます。それでは、議長も輪に入っていただきますので、議長と区役所職員はテーブルのほうに移動をお願いいたします。

<グループ討議>

<グループ発表>

○事務局

それではよろしいでしょうか。こちらから発表させていただいていいですかね。それでは、木幡委員、よろしいでしょうか。

○木幡委員

それでは、B班のほうの発表をさせていただきます。

テーマは、「みんなで守り未来へバトンをつなげるまち大正」と、それから4つ目の「人・企業・まちが共に育つ、にぎわいと進化のまち」ということをテーマにディスカッションをさせていただきました。

大体全体を通じてお話ししたのは、やっぱり今、現代社会は人との関わりというのがなかなか希薄になってしまってますねということですね。先ほどちょっと昔やったらお祭り、地元の盆踊りとかそんなの準備したり、そういう過程で結構地域の連携ができたとか、大人も子供もそういうところから関わり持ったりみたいなことがあったかと思います。また我々ものづくり企業は毎年もう恒例になってますけど、この場で「ものづくりフェスタ」というのをずっとさせていただいて、企業間も、もう年数でいうと次15年目ぐらいになるような感じなので、参画企業さんはお互い顔が見えるようになってきましたし、従業員さんのことも分かってるそういうふうになってきて、大分企業間のコミュニティはできてきたものの、でもうちも企業団地なんですけど、その地域での企業間の関わりって全然薄くて、あんまりそういうコミュニティ全然できてはいないんですね。特に防災も、ちょっとこちらテーマになりましたから、やっぱり防災のときなんかは、昔だったらもう隣近所皆顔も見えて、それでもまだ大阪市内で大正は、まだそういう意味では顔が見えてつながりのあるまちじゃないのかなというように、僕はちょっと。すごくほかのエリアに比べると、ほかの都島とか北区とか住んだこともあるんですけど、もうそれに比べたら全然大正はあるんかなっていうような印象なんですけど、それにしてもやっぱりその関係性というのはちょっともう昔に比べたら気薄になってるなというところで、どうやったらそういう絆がつけられるようなことができるんかなみたいなこともちょっと話をいろいろしたりしました。

私も今は大正区民になってるんですけど、以前は区外からずっと工場に勤務してましたので防災訓練とかもほとんど出たことなくて、でも企業でもやっぱり今、危機対策みたいなBCPみたいなことも結構言われたりするときに、いやこれやったらあかんと思って休みの日に出てきて都島のほうの防災訓練なんか出たこともあったんですけど、以前からもちょっと話題になってますけど、やっぱり企業がもうちょっと地域に関わる意識を持つということが、もうちょっと何かどうやったらそういうふうに皆、企業の方が意識持ってるんかなってというのは、僕自身もそうですし何かもうちょっと考えてみてもいいのかなと、私なんかはちょっとそんなふうなことを発言もさせていただきました。

そういう、どうしたら皆さんが一緒になりながら関わり持てるのかないうことを中心にちょっと話をさせていただきました。ちょっとまとめになったかどうか分かりません。ありがとうございます。

(拍手)

○中島委員

このチームでは、「こころのつながる健やかなまち大正」と、それから「こどもの夢をみんなで育むまち大正」ということをテーマにお話し合いをさせていただきました。

今回思ったのは、こういうふうに議題を絞っていただけると具体的な施策の提案までみんながそれぞれ持ってるんだなということが何となく分かった気がします。

例えば、食の支援という部分ですね、子育ての部分なんですけど、今こども食堂というところに行政は結構手厚く補助金を出したりいろいろとしてるんですけど、本来は補助金でこども食堂があるのが正しいのかどうかよく分かりません。正直言って本来なら、そのお金を何とかして行政が直接動いて食の支援はやっていくべきじゃないかなと。民間のボランティアに頼るのではなくて、そういうことはもう国や行政が一生懸命そのお金があるんであれば使っていくべきではないかなというふうな意見が出ま

した。

ほかに、福祉についての勉強会なんかを段階的にその世代、年齢に合わせた勉強会というのでも提案をされたらどうなんですかっていう御意見をいただきました。特に情操教育の段階的施策というところで御提案していただけてます。例えば、子供たちが歩いてるときにお年寄りが横断歩道でちょっと困ってるというときに、大丈夫かなっていう気持ちを持てるような、そういう心を育てる機会というのでも学校の中で行ってみたらどうかっていうのもあります。

それからあと不登校に関して、今数字が出ないとかいうようなことも言われてますが、けども実際は非常に多いと思います。これは昔から不登校というのは僕の時代もありました。ただ、今はやたらと多いっていうのは薄々感じます。それは何が原因なのかっていうのはもう皆さん何となく分かると思います。やっぱり詰め込み教育と、それから、これができないとこの学校ではついていけないというようなそういう思い込みですね。というのもあると思いますので、そういった部分の対策として、1つフリースクールをもっと大正区で増やせないかというような御意見も出ました。フリースクールっていうと、そういう発達障害の支援の学校ではなくて、自分の特徴だとか特技だとか、そういうものを発掘できる機会なので、まさにこの自分の夢と希望っていうものを育む機会になるんじゃないかなというふうに思うので、特に小林小学校の有効利用だとか、いろんなところで今空いてるところが大正区にもたくさんあるので、そういうところを行政が優先してフリースクール等をつくっていただけたらなというふうに思ってます。

特に今回、企業については、子供たちがお父さん、お母さんを見て働くのってしんどいんやろうなっていうふうな思いをしてもらいたくないんです。働くって結構楽しいよっていうところをぜひ。社会見学というのをよくやられるんですけど、社会見学ということで企業に行くと、みんなええ格好するんですよ。ぴしっとしてね、一生懸命動いてるところをやって、きれいなところ見せてってやるんですけど、そうじゃ

なくて、お父さん、お母さんたち、おじいさん、おばあさんたちが楽しそうに働いてる姿、例えば八百屋さんの見学でもいいじゃないですか。そういうところで楽しそうに働いて、これが生きるっていうことなんだなっていうのを子供たちに感じてもらうような機会、特に小学生の社会見学多いですけど、僕、中学３年生は受験で忙しいやろうけど、正直言って中学３年生はそういう年代になってきてます。目標っていうのを実際に自分の今の状態に置き換えてみることができる世代に入ってくるので、ぜひ中学の２年生、３年生、ちょっと大人になりかけてる子供たちに、大人のほんとに楽しそうに働いてる姿を見せてもらえたらなと。区役所の中でもええと思います。下向いてね、カリカリカリカリやってるところでもいいじゃないですか。でもたまに何か楽しそうに笑ってる職員さんがおるっていうのも見せてあげてください。そういうふうな意見をいただきました。以上です。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

いろんな貴重な意見をいただきましてありがとうございました。

それでは、グループ討議が終わりますので、議長と区役所職員は席にお戻りいただきますようお願いいたします。

○北川議長

皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

それでは、これにて議題２を終了させていただきます。

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。新たな将来ビジョンの策定に生かしていただきたいと思います。

本日予定されている議題は以上で終了とさせていただきます。

皆様には、議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。

では、終わらせていただきます。

○西尾区政企画担当課長

北川議長、ありがとうございました。

本日、お渡しさせていただきました資料の中に「御意見シート」がございます。本日の会議で発言できなかった、もっとこういったことをしゃべりたかったということがございましたら、また改めてちょっと御意見、御質問をいただきたいと思いますので、御意見については、9月30日の火曜日までに御提出いただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、事前にお配りしたアンケートですけれども、まだ御記入いただけてない方は、最後に退出時に御提出いただきますようによろしくお願いいたします。

それでは最後になりましたけど、委員の皆様におかれましては、9月30日をもちまして任期満了となります。2年間にわたり区政会議を支えていただき、本当にありがとうございました。改めて心から厚くお礼申し上げたいと思います。

ここで、今期をもって退任される委員の皆様には一言ずつ頂戴したいと思いますので、まず姉川委員からお願いいたします。

○姉川委員

大正区に赴任して6年目なんですけども、多分2年目から務めさせていただいて2期4年、ありがとうございました。何となく大正区のことも分かってきたし、これから多分ずっと働き続けるといいますので、また次もと言いたいんですけども、その辺は考えてやっていきたいなと思います。陰ながら応援してますので、皆さん頑張ってください。ありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

続きまして、姥委員、お願いいたします。

○姥委員

何かこの会議って入ってきた途端に怖い会議だなと第一印象そうでした。まず大阪

弁でしゃべったことが文字に出てきて、あっ、これはちょっとと思いながら意見も出さず申し訳なかったなと思います。でもほんとにいろいろ勉強させていただきました。ほんとにありがとうございました。また地域では残ってる部分、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。本日ありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

続きまして、大石委員、お願いいたします。

○大石委員

最後だからマスクを取ります。マスクを外せばこんな顔なんです。先ほどの方もおっしゃいましたけども、この区政会議に参加するに当たりまして、初回ほんとに不安でした。どういう形の会議かまず理解できてないことと、何を話していいか分からない。取りあえずこういう内容のものと事前に資料をいただいても、なかなか読み砕くことができないというのが実情でございましたので、自分自身がこの会議でどこまで責任を果たせたかという、もうほぼ及第点には程遠い点だったと思うんですけども、個人的には非常に有意義な勉強をさせていただきました。まだまだ、まだまだというか、この先あまり長くない人生しか残ってないんですけども、できるだけこの経験を生かして、いろんな意味で皆さんと一緒に動いていけたらいいかなと思っております。どうも2年間ほんとにありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

それでは次、柊委員、お願いいたします。

○柊委員

4年前に区政委員に選んでいただきまして、いろいろほんとに大正区のことを学ばせていただきました。私は神戸から毎日大正区に来ているんですけども、ほぼほぼ半日ぐらいは大正区におりまして、これからもっと大正区について知りたいなと思って

おります。外国人に対する日本教育を行っている者として、今後、今まで4年間教えていただいたことを踏まえて、外国人と大正区の方々との地域との交流、共生についてテーマを持って取り組んでまいりたいと思います。4年間どうもありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

続きまして、松村委員、お願いいたします。

○松村委員

ほんとに皆さん、いろいろ私もこの会議は緊張感がいっぱい、どんな話ししていかなくて勉強不足なもので、ほんとに皆さんのお話聞きながら勉強になったこともたくさんあります。また私は方言がちょっと違う田舎弁なので、みんなの前で話すると、やっぱり方言って出るんやなっていうのも分かりましたし、それで区役所でいろいろなイベントがあるときに、やっぱり区政会議で話出たことを取り入れてしてるんやなっていうこともほんとに勉強になりまして、ほんとにこういうのに関わらなかつたら何にも分からないんですけれども、ほんとに勉強になったことが多くて、片仮名が出たり、今難しい横文字とか出たら私はちょっとそういうの苦手なのでいつもどういうことかなっていう勉強にも本当になりまして、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

続きまして、土井副議長、お願いいたします。

○土井委員

4年間ほんとにありがとうございました。区政会議に参加してみて初めて、ほんとに今までずっと住んでる大正区のこと知らなかったことがいろいろ分かるようになって、ほんとに有意義な4年間でした、僕も。ほんとに地域の大人の活動とか行政の

方の活動と、あとジレンマみたいなのも垣間見ることができて、やっぱり一民間人として区のために何ができるかみたいなのをちょっと考えるようないいきっかけになったと思いますし、これで僕は区政委員終わりますけども、陰ながら注目していきたいと思います。ほんとにいろんな方と関われたことが財産になると思います。来期からは残念ながら、うちの妻がこちらにお世話になることになりまして、引き続きよろしくをお願いします。ありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

それでは最後に、北川議長、お願いいたします。

○北川議長

皆さん、いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。いろんなことを知り、いろいろ知識入りました。一番最年長だと思います。連合町会長の中でも一番最年長になっております。またこの2年間につきましては議長という大役をさせていただきましたましてありがとうございます。土井副議長に大変補佐していただきましたけれども無事に終わることができました。どうもありがとうございます。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

これからも様々な場面で区政運営に御協力いただければと、区政委員は卒業かもしれませんが、大正区との関わりは切っても切れないと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本会議の結びに当たりまして、区長の村田より御挨拶を申し上げます。

(拍手)

○村田区長

初めての取組どうでした。面白かったですか。ありがとうございます。今ちらちら

とお話を聞かせていただく中で感じたことは、昔ケネディ大統領が、国があなたのために何をしてくれるかじゃなしに、あなたが国のために何ができるかいうのを考えてくださいってケネディ大統領が言わはったらしいんですよ。今まさに話聞いているとそんな感じがいたしました。大正区のために自分たちとして何ができんねんという、もうその観点で今お話聞いてたら御議論していただいてたかなというふうに思いますし、2期された方、1期された方、一旦区政会議は閉めますけれども、この間、皆さんそういう観点で御議論いただいてたなということがもうほんとに感じました。ほんとにありがとうございました。

今お聞かせいただいたお考えを基に、またビジョンの骨子をブラッシュアップしていきたいと思いますので、もう終わりやと言わはる人も意見いただくことになると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

それから、北川議長、土井副議長、松村委員、大石委員、柊委員、姉川委員、姥委員、そして今日いらっしゃいませんけど南委員、堀江委員、4年間ありがとうございました。この場を借りて、いろんな意味のおわびもしたいと思いますし、お礼も申し上げます。引き続き、大正区民であったり事業所も大正にあたりということは、大正に関わるお一人ですので、ぜひ私たちにもいろいろとまだまだ勉強足るところあると思いますが、教えていただけたらというふうに思います。どうもありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

それでは、これをもちまして本日の区政会議を閉会させていただきます。

次回の区政会議は、12月12日金曜日、19時より大正区民ホールにて開催予定になっていますので、次期区政会議の委員の方は御出席のほどよろしくお願いいたします。

また、お帰りの際は1階の玄関が閉まっておりますので、2階の玄関を御利用いた

だきますようよろしくお願いいたします。

本日は、遅くまでどうもありがとうございました。

—了—